

# 安保関連3文書はアメリカ追隨の軍事一体化

「安保3文書」は、台湾有事での日米共同作戦を念頭に置いており、抑止力一辺倒の政策では、軍事緊張を高めるだけで戦争は回避できません。戦争となれば、私たちの経済、生活、自由、権利をも破壊され、積み上げてきた民主主義も破壊されます。いまこそ、声をあげ、武力によらない解決を進めましょう。

方法があります。憲法9条に基づく平和外交を進めましょう。

# 戦争 反対

## 抑止力という名の軍拡

## 憲法9条の破壊

## を止めさせよう

### 憲法9条

①日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動た

る戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

②前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

## 憲法9条=平和外交で解決しよう



### 働き、生活できる労働条件を獲得しよう

平和  
人権  
環境

### ユニオン平和

東京都千代田区神田司町 2-15-9 武蔵野ビル 労働相談室気付  
TEL 070-6576-2071 FAX 03-5577-7263  
<http://otagaisama.org>  
e-mail [info@otagaisama.org](mailto:info@otagaisama.org)

武力で平和は作れない

# 声をあげよう

武力で平和は  
つくりだせない

## 日本を戦場にしないためにも 台湾有事を起こさせない平和外交で

### 台湾有事を作り出すアメリカ

岸田首相は、敵基地攻撃能力の保有や防衛費倍増などの安保3文書の改定を、閣議だけで決め、国民に説明もせず、国会に諮らずに、なぜ、バイデン米大統領に報告に行ったのでしょうか。2月9日の日比首脳会談では、米国も含めた安保協力の促進など、対中国で3ヶ国での防衛協議や共同演習が進められています。

アメリカの新たな国家安全保障戦略は2022年10月に公表されており、「唯一のライバル」である中国との戦略的競争（覇権争い）に勝利し、米国が主導する国際秩序を実現することが目的です。この考え方に日本も追随して良いのでしょうか。

### 軍事一体化は戦争に巻き込まれるだけ

安保3文書は、アメリカの戦略に組み込

まれ、軍事一体化される事です。抑止力を口実に日本の軍備拡大が進められ、第一列島線に位置する沖縄南西諸島に、自衛隊のミサイル基地建設を行っています。アメリカが作り出す台湾有事から偶発的な事象から軍事介入すれば、日本が戦争に巻き込まれます。

### いまこそ 憲法9条を活かそう

日本には、憲法9条があります。「武力による・・・国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。」と明記してあります。ウクライナへのロシアの侵攻に対しても、武器支援ではなく、平和外交を通じて解決すべきです。武力の行使が非戦闘員の犠牲の拡大となっていることは明らかです。

平和外交を基軸に世界の民主主義を高め、戦争をやめさせていきましょう。

### 根拠のない中国敵視政策から平和外交で

右図の第一列島線は、アメリカが中国封じ込めに決めたラインである。このライン上で日比が軍事上の最重要の位置にあることは一目瞭然である。アメリカから400発購入予定のトマホークの飛距離は2000キロ、台湾、北京に届く距離である。軍事配置を止めさせよう。



トマホーク